

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

P/1878-172  
J1046 U.S. PTO  
09/903895  
07/12/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2000年 7月14日

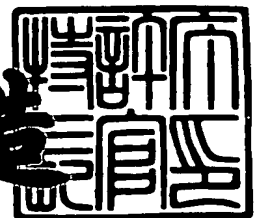
出願番号  
Application Number: 特願2000-214775

出願人  
Applicant(s): 日本電気株式会社

2001年 2月23日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3011546

【書類名】 特許願  
【整理番号】 68100009  
【提出日】 平成12年 7月14日  
【あて先】 特許庁長官 殿  
【国際特許分類】 G06F 17/00  
G06F 19/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内  
【氏名】 田中 寿

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内  
【氏名】 佐々木 克美

【特許出願人】

【識別番号】 000004237  
【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100088328  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 金田 暢之  
【電話番号】 03-3585-1882

【選任した代理人】

【識別番号】 100106297  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 伊藤 克博

【選任した代理人】

【識別番号】 100106138  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 石橋 政幸

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 089681

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9710078

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画面表示方法および画面表示システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法であって、

複数の画面を顧客レベルに応じて予め用意しておき、ユーザ端末がサーバにアクセスしてきた際に、そのユーザの現在の顧客レベルに応じて、予め用意しておいた複数の画面の中から表示する画面を選択して表示する画面表示方法。

【請求項 2】 前記画面が、ユーザ端末によりアクセスされた際に最初に表示する画面である請求項 1 記載の画面表示方法。

【請求項 3】 前記画面が、ユーザ端末による操作により構成の変更が可能である請求項 1 または 2 記載の画面表示方法。

【請求項 4】 ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法であって、

前記画面が複数の領域に分けられており、前記領域内には更に 1 つ以上の領域に分けられている階層構造になっており、前記各領域毎に位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数が変更が可能となっている画面表示方法。

【請求項 5】 前記各階層の領域は連携されており、前記各領域の位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数の範囲は下位の階層により予め決められており、該範囲内で変更が可能な請求項 4 記載の画面表示方法。

【請求項 6】 前記複数の領域のうちの一部が、ユーザ端末による操作では変更ができないように設定されている請求項 4 または 5 記載の画面表示方法。

【請求項 7】 ネットワークに接続されたユーザ端末と、  
ユーザの顧客レベルを含む顧客情報が各ユーザ毎に記録されている顧客情報データベースと、

複数の画面情報が前記顧客レベルに対応して予め記録されている画面情報データベースと、

あるユーザがアクセスしてきた場合、当該ユーザに対して現在登録されている顧客レベルを前記顧客情報データベースから読み取り、前記画面情報データベ

スに記録されている画面情報のうち、当該ユーザの顧客レベルに応じた画面情報を選択してユーザ端末に表示するサーバとを有する画面表示システム。

【請求項 8】 前記画面が、ユーザ端末によりアクセスされた際に最初に表示する画面である請求項 7 記載の画面表示システム。

【請求項 9】 前記画面が、ユーザ端末による操作により構成の変更が可能である請求項 7 または 8 記載の画面表示システム。

【請求項 10】 ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示するための画面表示システムにおいて、

前記画面が複数の領域に分けられており、前記領域内には更に 1 つ以上の領域に分けられている階層構造になっており、前記各領域毎に位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数が変更が可能となっていることを特徴とする画面表示システム。

【請求項 11】 前記各階層の領域は連携されており、前記各領域の位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数の範囲は下位の階層により予め決められており、該範囲内で変更が可能な請求項 10 記載の画面表示システム。

【請求項 12】 前記複数の領域のうちの一部が、ユーザ端末による操作では変更ができないように設定されている請求項 10 または 11 記載の画面表示システム。

【請求項 13】 請求項 7 から請求項 12 のいずれか 1 項に記載の画面表示システムに用いられるバックアップ手段であって、

前記画面情報データベースに記録された情報および前記顧客情報データベースに記録された情報を保持するバックアップ手段。

【請求項 14】 ユーザ端末がネットワークを介して接続してきた際に、該ユーザ端末に対して画面を表示するサーバであって、

あるユーザがアクセスしてきた場合、当該ユーザに対して現在登録されている顧客レベルを顧客情報データベースから読み取り、画面情報データベースに記録されている画面情報のうち、当該ユーザの顧客レベルに応じた画面情報を選択し

てユーザ端末に表示するサーバ。

【請求項 15】 前記画面が、ユーザ端末によりアクセスされた際に最初に表示する画面である請求項 14 記載のサーバ。

【請求項 16】 前記画面が、ユーザ端末による操作により構成の変更が可能である請求項 14 または 15 記載のサーバ。

【請求項 17】 ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、該ユーザ端末に対して画面を表示するサーバであって、

前記画面が複数の領域に分けられており、前記領域内には更に 1 つ以上の領域に分けられている階層構造になっており、前記各領域毎に位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数が変更が可能となっているサーバ。

【請求項 18】 前記各階層の領域は連携されており、前記各領域の位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数の範囲は下位の階層により予め決められており、該範囲内で変更が可能な請求項 17 記載のサーバ。

【請求項 19】 前記複数の領域のうちの一部が、ユーザ端末による操作では変更ができないように設定されている請求項 17 または 18 記載のサーバ。

【請求項 20】 請求項 14 から 19 のいずれか 1 項に記載のサーバの機能及び該サーバに蓄積された情報を保持するバックアップ手段。

【請求項 21】 ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録した記録媒体であって、

複数の画面を顧客レベルに応じて予め用意しておき、ユーザ端末がサーバにアクセスしてきた際に、そのユーザに対して現在登録されている現在の顧客レベルを読み取る処理と、

読み取った前記顧客レベルに応じて、予め用意しておいた複数の画面の中から表示する画面を選択して表示する処理とをコンピュータに実行させるためのプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 22】 前記画面が、ユーザ端末によりアクセスされた際に最初に表示する画面である請求項 21 記載の記録媒体。

【請求項 23】 前記画面が、ユーザ端末による操作により構成の変更が可

能である請求項 2 1 または 2 2 記載の記録媒体。

【請求項 2 4】 ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録した記録媒体であって、

前記画面が複数の領域に分けられており、前記領域内には更に 1 つ以上の領域に分けられている階層構造になっており、前記各領域毎に位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数が変更が可能となっている記録媒体。

【請求項 2 5】 前記各階層の領域は連携されており、前記各領域の位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数の範囲は下位の階層により予め決められており、該範囲内で変更が可能な請求項 2 4 記載の記録媒体。

【請求項 2 6】 前記複数の領域のうちの一部が、ユーザ端末による操作では変更ができないように設定されている請求項 2 4 または 2 5 記載の記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザ端末がインターネットを介して販売者又は企業等により運営されるサーバに接続した際に、このサーバによりユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法および画像表示システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年インターネットを介して商品の販売、購入が行われるオンラインショッピングが利用されるようになっている。また、様々な企業が自社に関する情報、または販売している自社製品の情報等をインターネットを介して広く発信している。

【 0 0 0 3 】

このような情報を得ようとするユーザまたはオンラインショッピングを利用しようとするユーザは、ユーザ端末を操作して、販売者又は企業により運営されているサーバにインターネットを介して接続する。そして、オンラインショッピングを行う場合には、その販売者のホームページを閲覧し、そのホームページ上で



販売されている商品の中から購入を希望する商品を選択して購入の申し込みを行うことにより商品の購入を行うことができる。また、企業の情報等を得ようとするユーザは、その企業のホームページを閲覧することにより欲しい情報を得ることができる。

【 0 0 0 4 】

このようなホームページを運営している販売者又は企業では、アクセスしてくるユーザができるだけ有用な情報を得ることができるようにホームページの表示画面を構成している。しかし、ホームページのスペースには限りがあるため、ホームページ上に直接表示することができる情報量には限度がある。そのため、ホームページ上には、他のwebページへリンクするための表示が設けられていて、ユーザは、この表示を選択することにより様々なwebページを検索して、欲しい情報を得ることができるようになっている。

【 0 0 0 5 】

このような販売者又は企業のホームページにアクセスしてくるユーザは、欲しい情報、アクセスしてきた目的等がそれぞれ異なっている。例えば、オンラインショッピングを運営している販売者のホームページにアクセスしてくるユーザには、オンラインショッピングを初めて行おうとしているユーザや、既に何度もオンラインショッピングを行っていてその仕組みについては熟知しているユーザのように様々なレベルのユーザが存在する。

【 0 0 0 6 】

しかし、従来の画面表示方法では、アクセスしてくるユーザに対して提供するホームページは1つしか無かったため、アクセスしてくるユーザに対して一律の情報しか発信することができなかった。そのため、あるユーザにとっては、必要の無い情報をその販売者のホームページにアクセスする毎に見なければならないという不都合や、必要な情報を得るためのwebページに到達するために毎回煩雑な操作が必要となるという不都合が発生する場合があった。

【 0 0 0 7 】

【発明が解決しようとする課題】

上述した従来の画面表示方法では、どのユーザがアクセスしてきた場合でも一

律に同じ画面を表示するため、そのユーザの要望に応じた情報を適切に提供することができないという問題点があった。

【 0 0 0 8 】

本発明の目的は、アクセスしてきたユーザの要望に応じた情報を適切に提供することができる画面表示方法を提供することである。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の画面表示方法は、ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法であって、

複数の画面を顧客レベルに応じて予め用意しておき、ユーザ端末がサーバにアクセスしてきた際に、そのユーザの現在の顧客レベルに応じて、予め用意しておいた複数の画面の中から表示する画面を選択して表示する。

【 0 0 1 0 】

本発明によれば、顧客レベル毎の表示画面を予め用意しておき、サーバは、アクセスしてきたユーザの顧客レベルに応じてユーザ端末に表示する画面を選択して表示するようにしたことにより、アクセスしてきたユーザの要望に応じた情報を適切に提供することができる。

【 0 0 1 1 】

また、本発明の他の画面表示方法では、前記画面が、ユーザ端末によりアクセスされた際に最初に表示する画面としてもよい。

【 0 0 1 2 】

また、本発明の他の画面表示方法では、前記画面が、ユーザ端末による操作により構成の変更が可能であるようにしてもよい。

【 0 0 1 3 】

本発明によれば、ユーザによる画面構成の変更を可能とすることにより、ユーザの欲しい情報、興味のある情報に応じた画面をユーザ端末に表示することができる。

【 0 0 1 4 】

また、本発明の他の画面表示方法は、ユーザ端末がネットワークを介してサーバに接続した際に、サーバにより該ユーザ端末に対して画面を表示する画面表示方法であって、

前記画面が複数の領域に分けられており、前記領域内には更に1つ以上の領域に分けられている階層構造になっており、前記各領域毎に位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数が変更が可能となっている。

【0015】

さらに、前記各階層の領域は連携されており、前記各領域の位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数の範囲は下位の階層により予め決められており、該範囲内で変更が可能ないようにしてもよい。

【0016】

さらに、前記複数の領域のうちの一部が、ユーザ端末による操作では変更ができないように設定されていてもよい。

【0017】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0018】

(第1の実施形態)

本発明の第1の実施形態の画面表示方法を実行するための画面表示システムの構成を図1に示す。

【0019】

この画面表示システムは、販売者サーバ10と、インターネット等のネットワーク20と、ユーザ端末30と、顧客情報データベース40と、記録媒体50と、画面情報ベース60とを備えている。説明を簡単にするために本実施形態ではユーザ端末は1つの場合を用いて説明するが、実際の画面表示システムでは、複数のユーザ端末がネットワーク20を介して販売者サーバ10と接続することができる。

【0020】

また、本実施形態では、オンラインショッピングを運営している販売者が、ネ

ットワークを介して商品を販売を行うためのホームページ上で画面を表示する場合を用いて説明する。

【 0 0 2 1 】

記録媒体 5 0 には、本実施形態の画面表示方法を実行するためのプログラムが記録されていて、このプログラムは、記録媒体 5 0 から販売者サーバ 1 0 に読み込まれ、販売者サーバ 1 0 の動作を制御する。販売者サーバ 1 0 はこのプログラムの制御により以下に示す処理を実行する。この記録媒体 5 0 は磁気ディスク、半導体メモリまたはその他の記録媒体であってもよい。

【 0 0 2 2 】

ユーザ端末 3 0 は、商品の購入を行うユーザにより操作され、ネットワーク 2 0 と接続する機能を有している。販売者サーバ 1 0 は、オンラインショッピングを行うためのサーバであり、ユーザ端末 3 0 はネットワーク 2 0 を介して販売者サーバ 1 0 に接続し、そのホームページ上で商品の情報の入手、検討、購入申し込みを行うことができるようになっている。

【 0 0 2 3 】

また、販売者サーバ 1 0 は、あるユーザがアクセスしてきた場合、このユーザに対して現在登録されている顧客レベルを顧客情報データベース 4 0 から読み取り、画面情報データベース 6 0 に記録されている画面情報のうち、このユーザの顧客レベルに応じた画面情報を選択してユーザ端末 3 0 に表示する。

【 0 0 2 4 】

販売者サーバ 1 0 は、ユーザ登録を受けていないユーザの顧客レベルは“訪問者”とし、ユーザ登録を受けているが未だ商品の購入を行っていないユーザの顧客レベルは“登録者”とし、ユーザ登録を受けていて既にオンラインショッピングにより何か商品を購入しているユーザの顧客レベルは“通常顧客”とし、ユーザ登録を受けていてオンラインショッピングによる購入実績が一定条件以上となったユーザの顧客レベルは“優先顧客”として画面情報データベースに記憶している。

【 0 0 2 5 】

つまり、ユーザがこの販売者のホームページにアクセスし、ユーザ登録を行っ

てオンラインショッピングにより商品の購入を行っていくことにより、このユーザの顧客レベルは、“訪問者”→“登録者”→“通常顧客”→“優先顧客”と上がっていくことになる。

【 0 0 2 6 】

ここで、顧客レベルを“通常顧客”から“優先顧客”へと上げるための購入実績の条件の例としては、オンラインショッピングにより購入した商品の代金の合計が一定金額以上であるとか、オンラインショッピングを利用した回数が一定回数以上であるというような条件を用いることができる。

【 0 0 2 7 】

顧客情報データベース40は、販売者サーバ10に接続されていて、顧客レベル、氏名、住所、購入した商品の履歴、ID番号等の顧客情報が各ユーザ毎に記録されている。

【 0 0 2 8 】

顧客情報データベース40に記憶される顧客情報の一例を図2に示す。この図2では、顧客レベルが“訪問者”であるユーザの場合には、未だユーザ登録を行っていないため、ID番号のみが記録されている。また、顧客レベルが“登録者”であるユーザの場合には、既にユーザ登録が行われているため、ID番号に加えて氏名、住所が記録されている。また、顧客レベルが“通常顧客”、“優先顧客”であるユーザの場合には、さらに以前に購入した商品に関する情報が記録されている。

【 0 0 2 9 】

ここでID番号とは、アクセスしてきたユーザを特定するための番号であり、販売者サーバ10は、いわゆるクッキーファイルと呼ばれるデータ等を用いることによりアクセスしてきたユーザの特定を行うことができる。つまり、ここでのID番号とは、このクッキーファイルを基にして作成される番号のことである。

【 0 0 3 0 】

一般に、クッキー・ファイルとは、ユーザがあるサイトのホームページ等にアクセスすると、そのユーザ端末上のハードディスク等に記録されるユーザの認識を行うことができるデータである。次に、ユーザがそのサイトのホームページに

アクセスした際には、そのサイトは、このクッキー・ファイルを用いることにより、アクセスしてきたユーザの特定を行うことができる。

【0031】

画面情報データベース60は、販売者サーバ10に接続されていて、複数の画面情報が顧客レベルに応じて予め記録されている。

【0032】

また、図示しないが、販売者サーバ10の機能及び販売者サーバ10に蓄積された情報や、顧客情報データベース40、画面情報データベース60、記録媒体50に記録された情報を保持するバックアップ手段を設けてもよい。

【0033】

本実施形態の画面表示方法を図3、図4を参照して説明する。

【0034】

図3(a)は、顧客レベルが“訪問者”の場合に、販売者サーバ10により選択されて標示される画面を示したものである。図3(b)は、顧客レベルが“登録者”の場合に、販売者サーバ10により選択されて標示される画面を示したものである。図4(a)は、顧客レベルが“通常顧客”の場合に、販売者サーバ10により選択されて標示される画面を示したものである。図4(b)は、顧客レベルが“優先顧客”の場合に、販売者サーバ10により選択されて標示される画面を示したものである。

【0035】

顧客レベルが“訪問者”であるユーザがアクセスしてきた場合には、販売者サーバ10は、画面情報データベース60に記憶されている画面の中から、図3(a)に示すような画面を選択して表示する。この画面が表示されるユーザは未だユーザ登録を行っていないユーザであるため、画面には新製品に関する情報の他に、ユーザ登録のための案内の情報が表示されている。尚、販売者サーバ10は、まだ顧客情報データベース40に全く登録されていないユーザがアクセスしてきた場合にも同様の画面表示を行い、そのユーザを、顧客レベルが“訪問者”であるユーザとして新たに顧客情報データベース40に登録する。

【0036】

顧客レベルが“登録者”であるユーザがアクセスしてきた場合には、販売者サーバ10は、画面情報データベース60に記憶されている画面の中から、図3（b）に示すような画面を選択して表示する。この画面が表示されるユーザは既にユーザ登録を行っているユーザであるため、新製品情報等に通常の情報に加えて、ユーザ個人宛の情報やオンラインショッピングに関する情報等の提供が行われる。

【0037】

顧客レベルが“通常顧客”であるユーザがアクセスしてきた場合には、販売者サーバ10は、画面情報データベース60に記憶されている画面の中から、図4（a）に示すような画面を選択して表示する。この画面が表示されるユーザは既にユーザ登録を行っていてオンラインショッピングにより商品の購入を行っているユーザであるため、個人宛の情報に加えて、過去の購入履歴に応じた情報の提供が行われる。

【0038】

過去の購入履歴に応じた情報の提供とは、例えば、パソコンを購入したユーザに対して、プリンタ等のパソコン周辺機器に関する情報を提供したり、インターネット接続業者に関する情報を提供する。

【0039】

顧客レベルが“優先顧客”であるユーザがアクセスしてきた場合には、販売者サーバ10は、画面情報データベース60に記憶されている画面の中から、図4（b）に示すような画面を選択して表示する。この画面が表示されるユーザは既にユーザ登録を行っていてオンラインショッピングにより一定条件以上の商品の購入を行っているユーザであるため、個人宛の情報や過去の購入履歴に応じた情報に加えて、新製品の優先販売の情報、他のユーザの紹介を依頼する情報等の特別の情報の提供が行われる。

【0040】

本実施形態の画面表示方法によれば、顧客レベル毎の表示画面を画面情報データベース60に予め用意しておき、販売者サーバ10は、アクセスしてきたユーザの顧客レベルに応じてユーザ端末に表示する画面を選択して表示するようにし

たことにより、アクセスしてきたユーザの要望に応じた情報を適切に提供することができる。

【 0 0 4 1 】

本実施形態では、販売者がネットワークを介して商品の販売を行うためのホームページ上で画面を表示する場合を用いて説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、企業が自社の情報を発信するためのホームページ上で画面を表示する際等のネットワークを介してユーザ端末 3 0 上に画面表示を行う他の場合に用いられる場合でも同様に適用することができるものである。

【 0 0 4 2 】

また、本実施形態では、顧客レベルとして“訪問者”、“登録者”、“通常顧客”、“優先顧客”という 4 つのレベルを用いて説明したが、顧客レベルの数および顧客レベルを決定する条件等は、どのように設定してもよい。例えば、サーバにアクセスしてきた回数に応じて顧客レベルを変化するようにしてもよいし、アクセスしてくる頻度（一定期間内におけるアクセス回数）により顧客レベルを変化するようにしてもよい。

【 0 0 4 3 】

さらに、本実施形態では、ユーザが販売者サーバ 1 0 にアクセスしてきた際にユーザ端末 3 0 に最初に表示する画面について説明したが、本発明はこのような場合に限定されるものではなく、どの段階でユーザ端末 3 0 に表示する画面についても同様に適用することができるものである。例えば、ユーザが販売者サーバ 1 0 にアクセスしてきた際に、最初にユーザ端末 1 0 に表示する画面はどのユーザに対しても同じ画面とし、次に表示する画面をそのユーザの顧客レベルに応じて表示するようにしてもよい。

【 0 0 4 4 】

(第 2 の実施形態)

次に、本発明の第 2 の実施形態の画面表示方法について説明する。上記第 1 の実施形態は、ユーザの顧客レベルに応じて表示する画面を選択して表示する方法であったが、この第 1 の実施形態による方法を用いた場合であってもユーザ端末 3 0 に表示される画面はメーカ等によって作成されたものである。しかし、ユー



ザが欲しい情報や興味のある情報は、ユーザ自身が一番良く知っているものであるため、メーカの用意したホームページの内容は必ずしもユーザの欲しい情報等とは必ずしも一致したものとなっているとは限らない。

【0045】

本実施形態は、このような点を改善し、ホームページにより提供される情報を最もユーザに適したものとするように、ユーザ自身により画面構成を変更することができるようにしたものである。

【0046】

本実施形態の画面表示方法を説明する前に、先ずホームページの構成について説明する。ホームページは、一般に、図5に示すように、ゾーンと、コンテナと、アイテムの3つの要素から構成されている。

【0047】

ゾーンとは、大領域であり、ホームページを複数の領域に分割した場合のその1つの領域である。コンテナとは、小領域であり、ゾーンをさらに複数の領域に分割した場合の1つの領域である。アイテムとは、項目であり、各コンテナの中身を構成していて、具体的な見出し、インデックス情報、リンク、テキスト等から構成されている。

【0048】

例えば、図5では、ゾーン70は、3つのコンテナ80<sub>1</sub>～80<sub>3</sub>により構成されていて、コンテナ80<sub>1</sub>は、2つのアイテム90<sub>1</sub>、90<sub>2</sub>により構成されている。

【0049】

本実施形態の画面表示方法を実行するためのシステム構成は図1に示したものと同様である。ただし、画面情報データベース60には、表示するための画面が各ユーザ毎に登録されていて、販売者サーバ10は、ユーザがアクセスしてきた場合には、そのユーザに対応する画面を画面情報データベース60の中から読み出してユーザ端末30に表示する。そして、画面情報データベース60に記録される画面構成は、ユーザ端末からの操作により変更可能なようになっている。

【0050】

本実施形態によれば、販売者サーバ 1 0 はアクセスしてきたユーザが顧客情報データベース 4 0 に未だ登録されていないユーザの場合には、予め用意しておいた初期画面をユーザ端末 3 0 に表示する。

【 0 0 5 1 】

ユーザは、販売者サーバ 1 0 にアクセスして表示されるホームページをユーザ端末 3 0 を操作することによりゾーン、コンテナ、アイテム等の位置、大きさ、内容等の変更を行うことができる。そして、その変更された画面情報は、そのユーザと対応づけられて画面情報データベース 6 0 に記録される。

【 0 0 5 2 】

そして、販売者サーバ 1 0 は、そのユーザが再度アクセスしてきた場合には、そのユーザに対応する画面を画面情報データベース 6 0 の中から読み出してユーザ端末 3 0 に表示する。

【 0 0 5 3 】

そのため、一旦表示画面の構成の変更を行ったユーザは、その販売者サーバ 1 0 にアクセスすると自分で変更した画面が表示され、自分の欲しい情報、興味のある情報が提供されるホームページを用いてオンラインショッピングを行ったり、各種の情報を得たりすることができる。

【 0 0 5 4 】

このように、本実施形態の画面表示方法では、画面が複数の領域であるゾーンに分けられ、このゾーン内は更に複数のコンテナ、アイテム等の領域に分けられている階層構造になっている。そして、各ゾーン、コンテナ、アイテムの各領域毎に位置、内容、大きさ、およびゾーンの領域内に設けられるコンテナの個数、およびコンテナの領域内に設けられるアイテムの個数が変更が可能となっている。

【 0 0 5 5 】

また、本実施形態の画面表示方法では、あるゾーンに属するコンテナはそのゾーンと連携されている。また、あるコンテナに属するアイテムはそのコンテナに連携されている。さらに、各領域の位置、内容、大きさ、および領域内に設けられる領域の個数の範囲は下位の階層により予め決められており、この範囲内で変

更が可能なように設定されている。つまり、ゾーンの位置、内容、大きさ、およびゾーン内に設けられるコンテナの個数の範囲は下位の階層であるコンテナにより予め決められており、この範囲内で変更が可能なように設定されている。また、コンテナの位置、内容、大きさ、およびコンテナ内に設けられるアイテムの個数の範囲は下位の階層であるアイテムにより予め決められており、この範囲内で変更が可能なように設定されている。

#### 【0056】

本実施形態の画面表示方法によって、ユーザによる画面構成の変更（カスタマイズ）が行われた画面の一例を図6、図7を参照して説明する。図6は本実施形態の画面表示方法によるカスタマイズ前の画面の一例を示す図であり、図7は本実施形態の画面表示方法によりカスタマイズされた後の画面の一例を示す図である。

#### 【0057】

以下の説明では、各領域は3階層の階層構造となっている場合を用いて説明を行い、各階層はそれぞれゾーン1～3、コンテナ1～8、アイテム1～16が設定できるようになっているものとする。

#### 【0058】

カスタマイズされる前の画面を示した図6では、画面は3つの領域であるゾーン1～3により分けられている。例えば、ゾーン1は広告ゾーンという意味を有し、コンテナを3つ置くと定義付けされている。ゾーン2は、商品紹介ゾーンという意味を有し、コンテナの個数は1～3の範囲内であると定義付けされている。ゾーン3は、サイトからの連絡ゾーンという意味を有し、コンテナは2以上と定義付けされている。

#### 【0059】

コンテナ1～3は、バナー広告用という意味を有し、位置や大きさの変更はできないように設定されていて、1つのコンテナの中には1つのアイテムしか設けることができないように定義付けされている。

#### 【0060】

コンテナ4～6はお薦めのノートパソコン用、デスクトップパソコン用、周辺

機器用という意味を有し、1つ以上表示しなければならないように設定されている。また、画像アイテムとテキストアイテムの両方が複数載せられるように定義付けされている。

【0061】

コンテナ7、8は、情報用と利用条件用という意味を有し、利用条件用は大きさの変更や消去ができないように設定されているとともに、テキストアイテムが複数表示できると定義付けされている。

【0062】

アイテム1～3は、バナー広告という意味を有している。アイテム4は、ノートパソコンの写真、アイテム5はデスクトップパソコン1の写真、アイテム6はTA（ターミナルアダプタ）の写真、アイテム7はノートパソコンの基本情報、アイテム8はデスクトップパソコン1の基本情報、アイテム9はTAの基本情報という意味を有する。

【0063】

アイテム10は、ID登録依頼文書である。アイテム11は新製品のお知らせである。アイテム12は、利用規約という意味を有する。

【0064】

この表示画面に対してユーザによる変更（カスタマイズ）が行われた後の画面を図7に示す。

【0065】

図7では、アイテム13は、デスクトップパソコン2の写真、アイテム14はデスクトップパソコン3の写真、アイテム15はデスクトップパソコン2の基本情報、アイテム16はデスクトップパソコン3の基本情報という意味を有する。

【0066】

このように図6に示された画面に対して、ユーザは自分の欲しい情報、興味のある情報が表示されうように変更を行うことにより図7に示される画面が得られ、ユーザが販売者サーバ10にアクセスした際には図7の画面がユーザ端末30上に表示されることになる。

【0067】

本実施形態では、ゾーン、コンテナ、アイテム等の位置、大きさ、内容等の変更をすることができる場合について説明したが、これらのうちの一部はユーザによる変更をすることができないようにしてもよい。例えば、広告料を徴収している広告のゾーンや、法律により表示が義務づけられている表示を行うゾーン等をユーザにより削除できるようにしたのでは不都合が生じるので、これらのゾーンはユーザによる変更はすることができないようにすることが好ましい。また、同様な理由により、コンテナ、アイテムのうちの一部にもユーザにより変更をすることができないように設定してもよい。

【 0 0 6 8 】

また、ゾーンはユーザによる変更はできないようにして、ゾーン内部のコンテナ、アイテムのみをユーザにより変更することができるようにしてもよい。

【 0 0 6 9 】

また、本実施形態の画面表示方法では、画面構成をゾーン、コンテナ、アイテムの３段階の階層に分けた場合について説明したが、本発明は画面構成を分ける階層の数は３段階に限定されるものではなく、画面構成を２段階、４段階、５段階、・・・等の複数段階に分けるようにした場合であれば同様に適用することができるものである。

【 0 0 7 0 】

さらに、本実施形態の画面表示方法では、インターネット上で公開されるホームページ上での画面表示の場合に本発明を適用した場合を用いて説明したが、本発明はこのような場合に限定されるものではなく、OS (Operating System) 上に表示される画面やアプリケーションソフトを起動した場合に表示される画面についても同様に適用することができるものである。

【 0 0 7 1 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明は、下記のような効果を有する。

(1) 予め顧客レベル毎に表示画面を用意しておき、アクセスしてきたユーザの顧客レベルに応じてユーザ端末に表示する画面を選択して表示するようにしたことにより、アクセスしてきたユーザの要望に応じた情報を適切に提供することが

できる。

(2) ユーザにより画面構成の変更を可能とすることにより、ユーザの欲しい情報、興味のある情報を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の第1の実施形態の画面表示方法の構成を示すブロック図である。

【図2】

顧客情報データベース40に記憶される顧客情報の一例を示す図である。

【図3】

顧客レベルが“訪問者”の場合に販売者サーバ10により選択されて標示される画面(図3(a))及び、顧客レベルが“登録者”の場合に販売者サーバ10により選択されて標示される画面(図3(a))の一例を示す図である。

【図4】

顧客レベルが“通常顧客”の場合に販売者サーバ10により選択されて標示される画面(図4(a))及び、顧客レベルが“優先顧客”の場合に販売者サーバ10により選択されて標示される画面(図4(a))の一例を示す図である。

【図5】

ゾーン、コンテナ、アイテムの関係を説明するための図である。

【図6】

本発明の第2の実施形態の画面表示方法によるカスタマイズ前の画面の一例を示す図である。

【図7】

本発明の第2の実施形態の画面表示方法によりカスタマイズされた後の画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 10 販売者サーバ
- 20 ネットワーク
- 30 ユーザ端末
- 40 顧客情報データベース

50 記録媒体

60 画像情報データベース

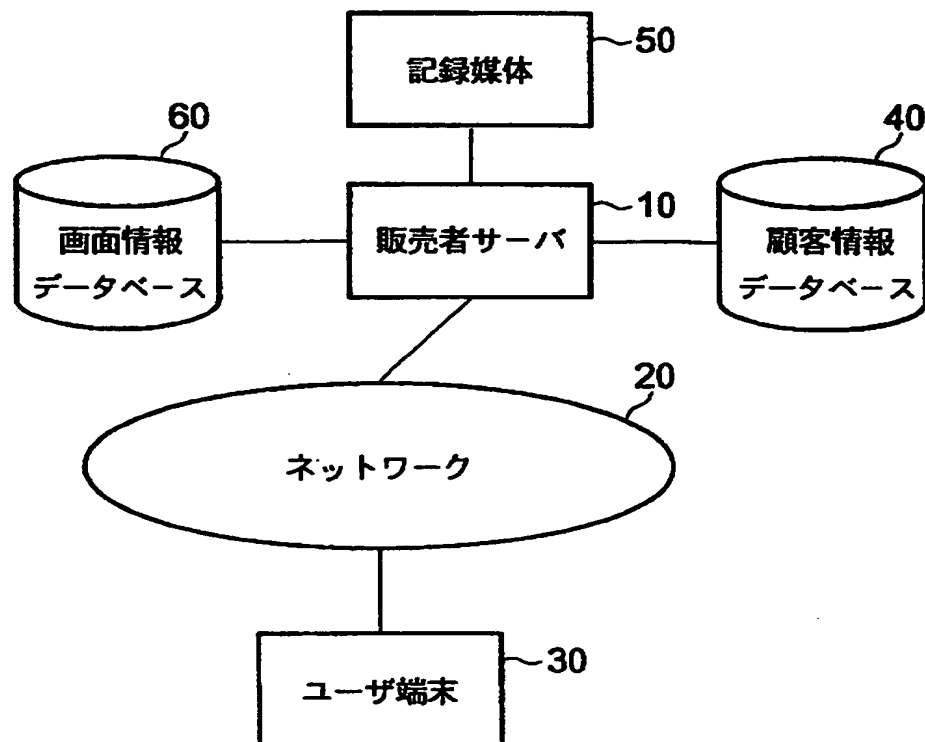
70 ゾーン

80<sub>1</sub>~80<sub>3</sub> コンテナ

90<sub>1</sub>、90<sub>2</sub> アイテム

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】

ID番号	氏 名	住 所	顧客レベル	購入商品
245638...	〇〇〇	△△△	通常顧客	□□□
315269...	——	——	訪問者	——
462351...	——	——	訪問者	——
326302...	〇〇〇	△△△	登録者	——
487003...	〇〇〇	△△△	通常顧客	□□□
629438...	〇〇〇	△△△	優先顧客	<div> □□□□  □□□□  □□□□  □□□□ </div>



【図 3】

(a)

	(新製品情報)
	ユーザ登録の 御案内

(b)

	こんにちは、〇〇〇様。 ご登録ありがとうございました。
	(新製品情報)
	オンラインショッピング の御案内

【図4】

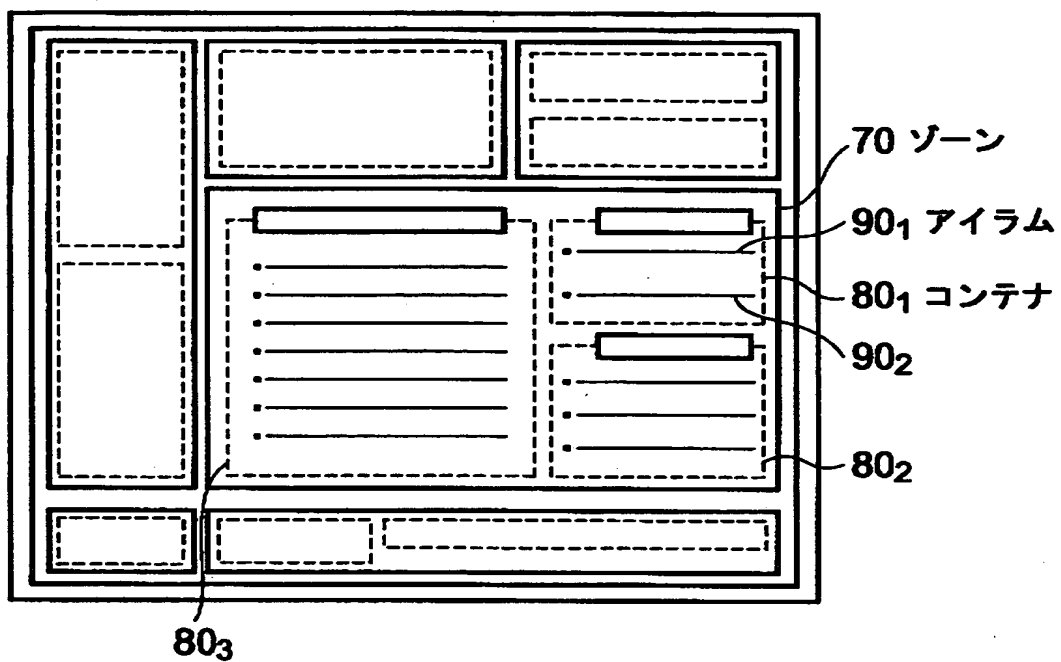
(a)

	こんにちは、〇〇〇様。 ××××のお買上げありがとうございました。
	パソコン周辺機器 の御案内
	インターネット接続業者 の御紹介

(b)

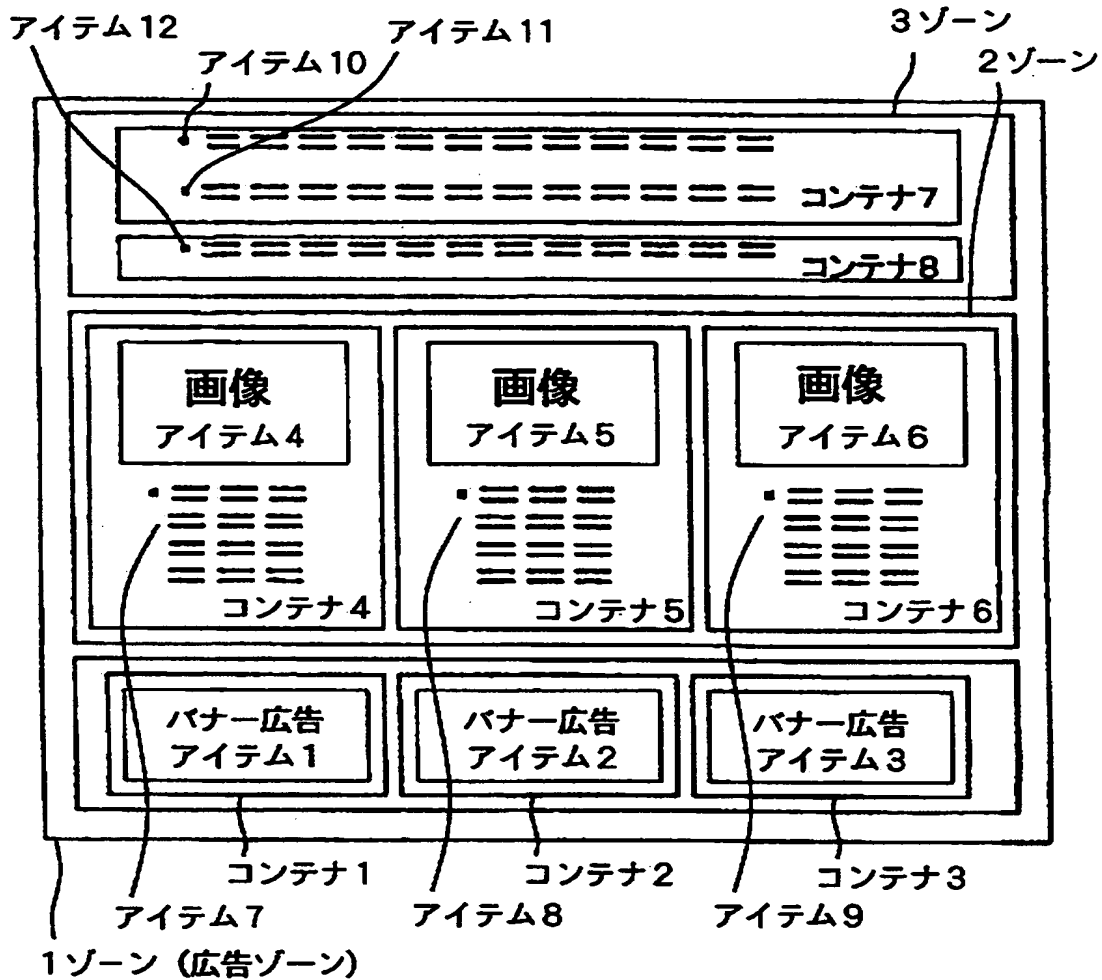
	こんにちは、〇〇〇様。 日頃の弊社製品のご愛顧ありがとうございます。
	新製品△△△の 優先販売の御知らせ
	御友人紹介制度 の御案内

【図 5】



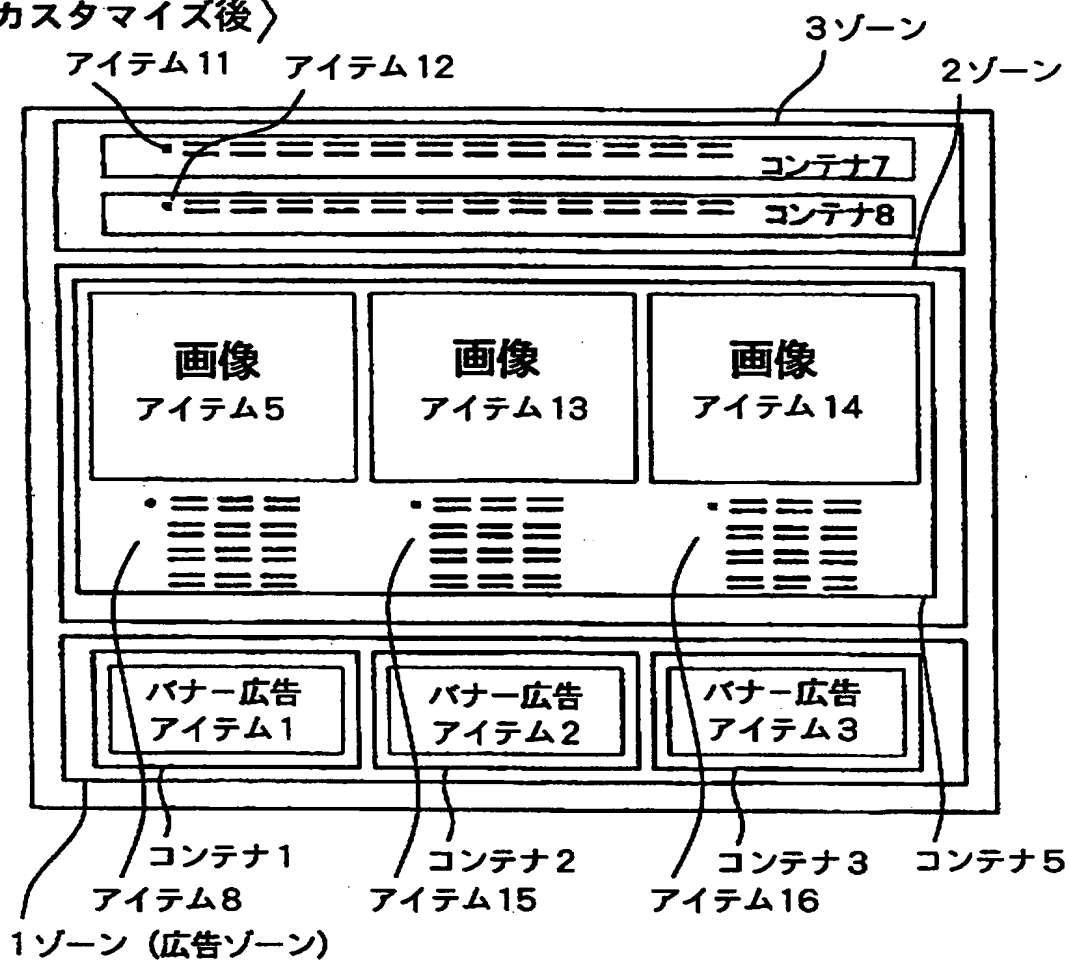
【図6】

〈カスタマイズ前〉



【図7】

〈カスタマイズ後〉



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 アクセスしてきたユーザの要望に応じた情報を適切に提供する。

【解決手段】 ユーザがこの販売者のホームページにアクセスし、ユーザ登録を行ってオンラインショッピングにより商品の購入を行っていくことにより、このユーザの顧客レベルを、“訪問者”→“登録者”→“通常顧客”→“優先顧客”と上げていく。この顧客レベルは、顧客情報として顧客データベース40に記憶しておく。販売者サーバ10は、ユーザがアクセスしてきた場合には、この顧客レベルに応じた画面を画面情報データベース60に記録されている複数の画面の中から選択してユーザ端末30に表示する。

【選択図】 図1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名	日本電気株式会社